



開会式で披露された子供たちの顔がプリントされた傘 (撮影・田崎高広)

子供たちの笑顔(金)の輝き

開会式に日本人アートディレクターの写真

水谷孝次氏

開会式で、子供たちの笑顔が登壇した。撮影したのは、アートディレクター水谷孝次氏(57)写真。世界中の笑顔を伝える活動「メリープロジェクト」を通じ撮り続けた写真1644枚を、式典総監



督の映画監 化を世界に発信できるチャン 菅、張雲漢子 スで、一翼を拍わせてもらえ ヤン・イーモ た」と話した。

昨日、張氏が子供たちの笑顔を募集していることを知り、作品提供を申し出た。同年末に会場で「私たちがやりたか

式典総監督イーモウ氏に提供

「鳥の巢」に登壇した笑顔の持ち主は、途上国で出会った子供たち。「笑顔は、負のマイナスをプラスに変える。生きるのに必死な彼らにスポーツが当たってこそ、平和の祭典の意味がある。イーモウはそれを分かってくれた」と話した。

ったことを、もうあなたはやっていた。いい笑顔の使い方を教えてもらった」と伝えられた。先月下旬、写真1000枚を使用すると手紙が届いた。「開会式に輝きがより一層増えた」とも記されていた。水谷氏はこれまで多くの企業広告に携わり、フランク・シナトラら著名人も仕事をしたが、最近「世界の1人1人をもっとメリー(幸せ)にする活動に軸足を移した。阪神・淡路大震災後の神戸や同時多発テロ後のニューヨーク、途上国などでレンズを構えた。